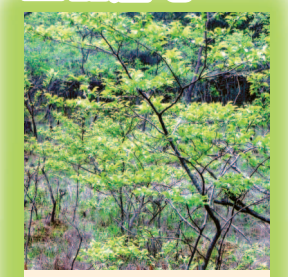
北山湿地 KITAYAMA SHICCHI 案内マップ

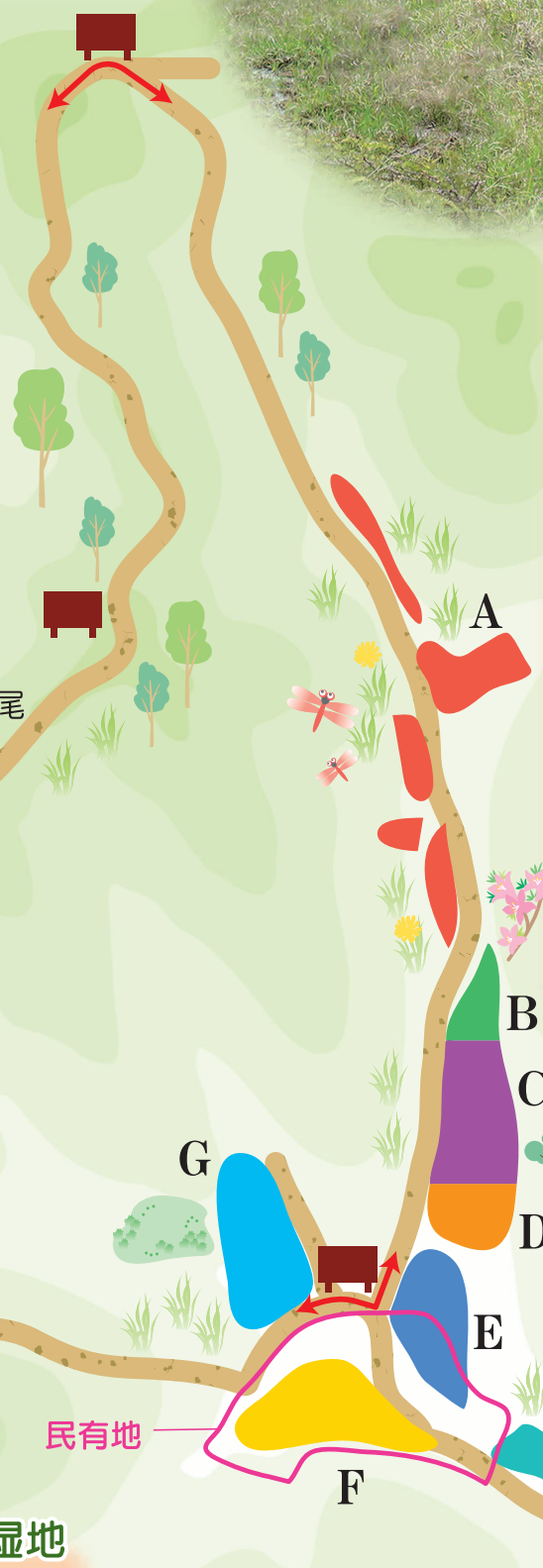
A湿地風景

は道先案内の看板です。

H湿地



サクラバハンノキ
成木の樹皮はハンノキのような割れ目がなく、なめらかです。



A湿地

ナンカイイワカガミ 春
A湿地の山肌に群生地があり、白色の美しい花を咲かせます。

レンゲツツジ 春
朱橙色のツツジとしては大きな花をつけます。

ハルリンドウ 春
春の湿地を青色の可憐な花でいろどります。

クロミノニシゴリ 初夏
初夏に白い小さな花をつけ、秋に実は黒く熟します。

マキノスミレ 春
花は紅紫色で、地面から立ち上がった細長い葉をつけます。

ミミカキグサ 夏
湿地内の泥地に生える食虫植物で、黄色の小さな花を咲かせます。

モウセンゴケ 夏
湿地の内部や水分の多い所に生える食虫植物です。

トウカイコモウセンゴケ 夏
東海地方に見られる食虫植物で、湿地周辺に生えています。

ミズギボウシ 夏
青紫色の花を咲かせる、湿地性の多年草です。

ミカヅキグサ 夏
多年草で、中間湿地の指標植物にもなっています。
※ミカズキグサとも表記

ムラサキミミカキグサ NT 夏
小さなヘラ形の葉をつけ、紫色の小さな花を咲かせます。

サワシロギク 夏
9月頃に白い花が咲き、のちに紅色に変わります。

ミズギク NT 夏
湿地に生える多年草で、黄色の花を咲かせます。

キセルアザミ 秋
うつむいて咲く頭花のようすがキセルに似ているのでこの名がつきました。

スイラン 秋
湿地に生える多年草で、黄色の花を咲かせます。

B湿地風景

B湿地～A湿地入口

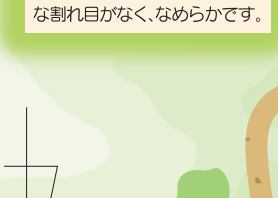
アキノギンリョウソウ 秋
秋の林の下に生える葉緑体をもたない腐生植物です。

ショウジョウバカマ 春
葉が地表に放射状に広がり、桃色から赤紫色の花をつけます。

ヒナノシャクジョウ VU 夏
県下には生育地の少ない貴重な植物です。

アギスミレ 初夏
花が終わると葉の形がブーメランのような形になります。

D湿地～C湿地



エンシュウムヨウラン 初夏
林の下に生える無葉の腐生植物で、腐った落ち葉などから栄養分を取り入れます。

ヤマドリゼンマイ
春に茶色の胞子葉が、緑色の栄養葉に先だって出てきます。

ヘビノボラズ NT 初夏
初夏に黄色の花が咲き、秋に実が赤く熟します。

サワギキョウ 夏
茎の上部に紫色の美しい花を多くつけます。

I湿地～G湿地

バイカツツジ 初夏
花の形がウメの花に似ているのでこの名がつきました。

アケボノソウ 秋
花びらの先にある斑点を夜明けの星座に見立ててこの名がつきました。

北山湿地入口

- 入口～A湿地 ……680m
- 入口～A湿地～尾根道～H湿地～入口（1周）…2,870m

WC　P

湿地入口～やなが沢池

コバノミツバツツジ 春
日当たりのよい山道ぞいで美しい花をつけます。

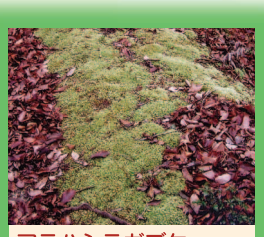
ササユリ 初夏
葉がササに似ていることがこの名の由来です。

ムカゴニンジン 秋
白色の小さな花を咲かせます。

北山湿地を代表する苔（こけ）

オオミズゴケ NT
北山湿地を広く覆っているのがオオミズゴケで、ここの特色のひとつになっています。

ヒノキゴケ
イタチのしっぽのような形をしていて、道ぞいでみられます。



アラハシラガゴケ
白っぽい色を白髪に見立ててこの名がつきました。

ハリミズゴケ NT
湿地の水道ぞいに生えています。

春 初夏 夏 秋 は、花の開花時期を示すものです。詳しくは、「花のカレンダー」をご覧下さい。　VU 愛知県絶滅危惧Ⅱ類　NT 愛知県準絶滅危惧